

大阪の顔となる場所や地域の拠点を中心に／

① みどりへの興味・関心を高めるプロジェクト

①－A

多くの人に認識される
街路樹・公園樹の景観・
快適性向上

多くの人を訪れる公園や道路などにおいて、
美しい樹形と豊かな緑陰を形成し、景観向
上や空間としての快適性向上を図る



豊かな緑陰形成の
イメージ

①－B

開発に合わせた民有地
緑化の推進

民間開発に合わせて多様なみどりを取り
入れる取組を拡大・展開させ、質の高い
印象的なみどりの創出・育成を図る



民有地緑化の事例
(新ダイビル「堂島の杜」)

出典：社会・環境貢献緑地評価システム (SEGES) HP

①－C

多様な主体によるみどり
空間の幅広い活用

多様な主体による幅広い活用の取組を、
より多くのみどり空間で根付かせること
で、みどりに対する興味や愛着を高める



公園活用のイメージ
(パークファン)

①－D

多様なツールを活用した
みどりの情報共有・発信

ポータルサイトやSNSなど、多様な
ツールを活用した情報の共有・発信に
より、みどりを知る・触れる機会を創出



みどりのポータルサイト
(みどりの都市・大阪ONLINE)

【基本方針①】

“育む”

【基本方針②】

“活かす”

【基本方針③】

“つながる”

市域全体のベースアップを図って／

② みどりの満足度向上に向けた好循環を生み出すプロジェクト

②－A

市内全域における
街路樹・公園樹の
計画的な保全育成

市内全域の街路樹・公園樹を対象に、植
栽環境に応じた、計画的な維持管理を行
い、健全な樹木の保全育成を推進



計画的な維持管理の
イメージ

②－B

利用者の意見を反映した
公園の魅力向上

利用者の意見を反映させた公園施設の導
入や、機能分担の視点を踏まえた調査
検討・試行により、公園利用を促進する



魅力ある公園施設のイメージ
(複合遊具)

出典：土居川公園HP

②－C

地域・エリアのステーク
ホルダーによるみどり
空間の活用・運営

地域・エリアのステークホルダーが公園
などを活用・運営することで、地域の
課題解決やエリアの価値向上につなげる



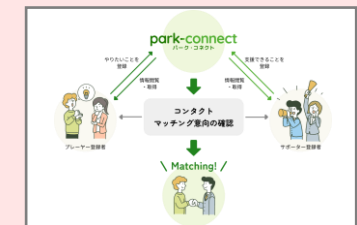
地域主体のイベント事例
(草津川跡地公園)

出典：草津川跡地公園HP

②－D

みどりのまちづくりに
参画・支援する取組の
展開

様々な活動を支援できる仕組みを構築し、
多様な主体による参画・支援の輪を拡大
させていく



公園活用プレイヤーと
サポーターのマッチング
(パーク・コネクト)

「一人ひとりが輝くみどりのまちづくり」 Green Wellness Osaka

都市を支える健全で快適な「みどり」を“育み”

まちの多様な「みどり」を“活かし”

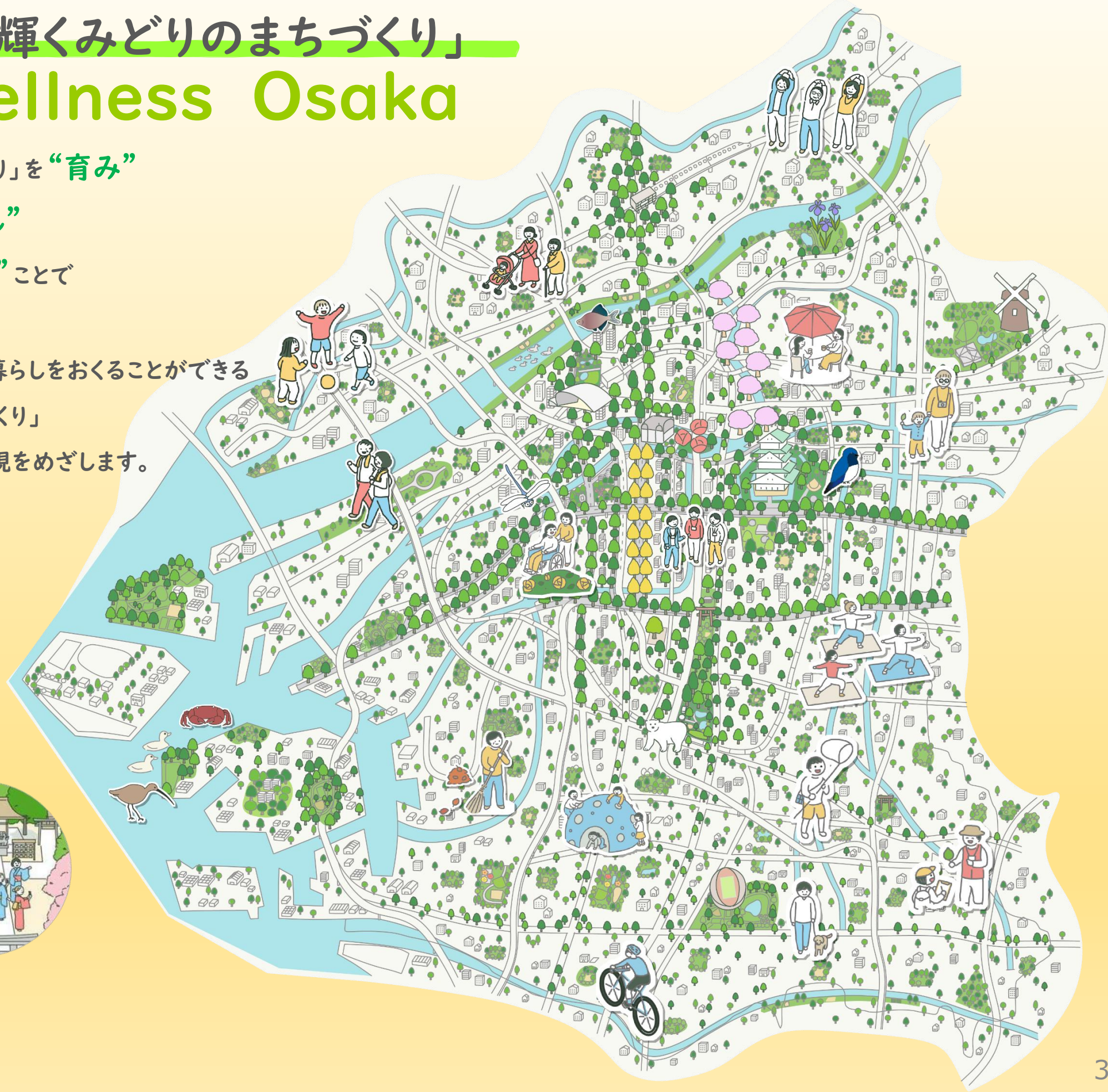
人と人が「みどり」で“つながる”ことで

住む・働く・訪れる人々が

心と身も健康で、充実した豊かな暮らしをおくることができる

「一人ひとりが輝くみどりのまちづくり」

Green Wellness Osakaの実現をめざします。



- 計画の推進にあたっては、市民、民間の企業・法人、学識、行政の多様な主体がそれぞれの役割を担い、各々の強みを活かしつつ、相互に連携・支援していきます。
- みどりのまちづくり指標を設定し、2030（令和12）年度末の中間評価や、2035（令和17）年の計画改定に活用します。

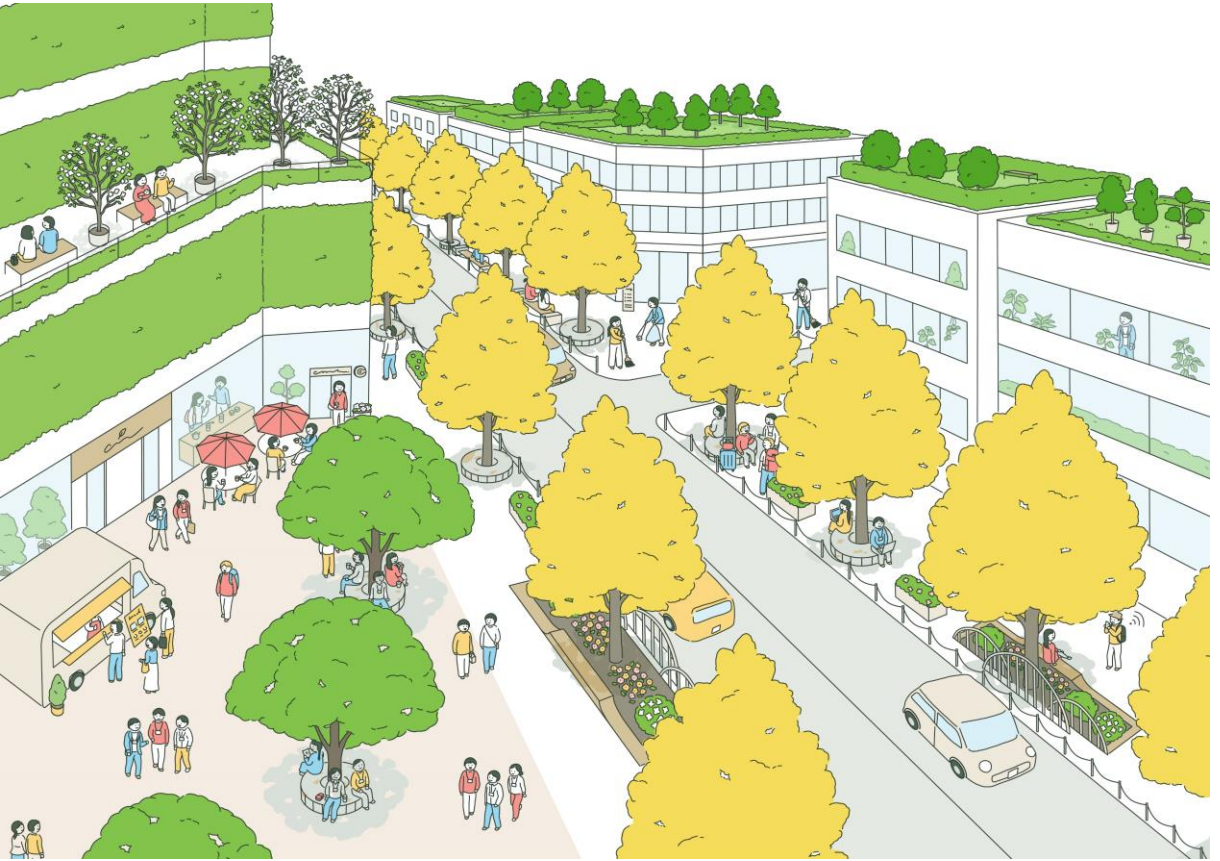


【みどりのまちづくり指標】

種類	内容	項目	基準値	目標値	関係する基本方針		
					育む	活かす	つなげる
成果指標	みどりのまちづくりの成果としてめざす指標	身近なみどりの満足度	37.1%	50%	●	●	●
		みどりが増えたと感じる人の割合	24.3%	33%	●	●	●
		身近な公園の利用頻度	38.0%	45%	●	●	●
達成指標	みどりのまちづくりの中で行政がめざす量的目標値となる指標	緑被率	10.7%	現状以上	●	●	●
		都市公園の市民一人あたり面積	3.5㎡/人	3.7㎡/人	●	●	●
共有指標	みどりのまちづくりの進捗を把握する尺度として、緑化の意識啓発につなげるための指標	緑視率	各地点で測定	—	●	●	●
		地域に身近な都市公園の利用状況	地区公園と近隣公園で測定	—	●	●	●
LP指標	リーディングプロジェクトでめざすアウトプットを示した指標	取組ごとに設定（本編第5章参照）			●	●	●



■「住む人」に身近なみどりのシーン例（地域に身近な都市公園）



■働く人・訪れる人を惹きつけるみどりのシーン例（幹線道路と沿道の空間）